

2024年11月12日

国立大学法人金沢大学
人間社会学域長
人間社会研究域長 山本 卓 様

金沢大学教職員組合
執行委員長 早津 裕貴
金沢大学教職員組合角間北支部
執行委員長 石黒 盛久

人間社会学域・研究域の改編に伴う教員の所属に関する申し入れ

人間社会学域・研究域の改編に関して配慮をお願いしたく、下記の通り要求します。
よろしくお取り計らいくださるようお願いいたします。

記

1. 人間社会学域・研究域の改編の検討状況について、対象となる教員に対して適宜情報提供を行い、検討状況を共有すること。
2. 対象教員が意見表明できる場を設けること。またセンシティブな個人の問題や配慮すべき問題がある場合は学類長や域長等へ相談できる体制を整えること。
3. 改編後の学類やコースの組織体制、自らの所属について、対象教員の意向調査を実施し、本人の意向を尊重すること。

(趣旨)

人間社会学域・研究域の改編に向けた議論が進められていますが、一般の教員からは、新しい学類やコースの組織体制、自らの所属について、不安の声が上がっています。新体制はまだ確定しておりませんが、教員の多くが学類やコース、また所属の変更を余儀なくされることは間違いありません。

まずは、検討の余地が残されている早い段階から、対象教員に対して現在の検討状況を適宜情報提供し、検討状況を共有することを求めます。また、民主的な部局運営の観点から、情報提供のみならず、一般の教員がそのことについて議論し意見を提案できる場（あるいはシステム）を設けることを求めます。

前回の学類・学系制への改編の際には意向調査が実施されております。そこで、今回についても、改編後に担当することになる学類やコース等について、教員の意向調査を行い、本人の意向に沿った配置を原則とすることを求めます。

各教員は現在の学類・学系にアイデンティティをもち、教育・研究活動に全力を傾けています。性急かつ意に反した配置換えが行われれば、教育・研究のモチベーションの低下に繋がりがねません。丁寧な議論と意向聴取の実施をお願いします。

以上